

日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画

8・9月 報告レポート

2025年9月 岩田望来

第52期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画に広島県代表として参加しております、広島市立大学国際学部国際学科3年の岩田望来と申します。大学では多文化共生と国際政治を横断的に学んでいます。

今回この研修に参加した理由は大きく分けて2つあります。1つ目は、どのようにすればお互いに分かり合えない人たちや異なる立場にいる人たちが対話を継続しようと思えるようになるかを、異なる立場にいる人たちが1つの社会で暮らす多民族国家であるメキシコで実際に暮らし学びたいと考えたためです。2つ目は、メキシコの現代演劇と日本の演劇の共通点や相違点を探るためです。

本報告書では、1年間の研修を通して感じたことや学びとったこと、気づいたことを中心に、メキシコの魅力をお伝えしていきたいと思います。

1.メキシコシティ（CDMX）の基本情報

暑いイメージがあるかもしれませんが、標高が高く盆地に位置するCDMXの8・9月の最高気温は25℃前後なので、記録的猛暑を観測している日本と比較するとかなり涼しいです。季節の区分としては、5-10月が雨季、11-4月が乾季ですが、1年を通して気温に大きな差はありません。ただし1日の気温差はかなりあります。先述の通り最高気温は25℃前後ですが、最低気温は10℃台まで落ち込みます。そのため半袖に1枚上着を羽織るのがCDMXの8・9月での基本スタイルでした。CDMXに行く際は、長袖長ズボンと上着、必須です。

加えてちょっと厄介なのが雨季。夕立が頻繁に襲ってきます。雨の強さはもちろんのこと、日本ほど道路の水はけがよくないため、夕立に襲われると高確率で全身びしょびしょになります。現地に住むメキシコ人たちも、夕立に降られた際は地下鉄（metro）の駅で雨宿りをしています。雨季のメキシコに行く際は、雨対策グッズ、必携です。

またCDMXは標高2,240mに位置します。富士山5合目くらいの高さです。人によっては「高山病」に罹患する高さです。実際一緒にメキシコに来た研修生数人が高山病に苦しんでいました。CDMXに行く際は念頭に置いておくことを推奨します。標高のためか日差しも強いので、日焼け止めグッズを持っていくこともおすすめ。NIVEAの日焼け止めクリームが売っていますが、どれほどのものかは分かりません、ごめんなさい。

2.語学学校（CEPE）の授業開始！

8月下旬からスタートしました！

通う学校はメキシコ国立自治大学付属の外国人向け語学学校、通称 CEPE。CEPE では nivel0-8 までのレベルがあり、自分のレベルに合ったレベル・クラスに振り分けられます。授業開始前に文法、会話、作文のテストを受け、その結果を基にしているのですが、飛び級やレベル下げも可能です。リスニングが壊滅的な私は nivel 2 に在籍することになりました。

クラスメートは、日本、韓国、アメリカ、イスラエル、ハイチ、コンゴと多国籍。世代も様々、特技も様々。リスニングが得意な人、会話が得意な人、文法が得意な人と、その時々に応じてみんなが特技を生かせるクラスです。メインの授業は文法中心ですが、合間に自国の文化や母国語を教え合ったりする時間も設けられており、とても楽しいです。

3.公共交通機関事情

通学方法は、地下鉄（metro）、バス（autobús）などがありますが、私はメトロバス（metrobus）を利用しています。片道一律 6 ペソ（約 50 円）と超安価。女性専用車両があります。またメキシコのこれらの公共交通機関の大きな特徴に「時刻表が存在しない」というものがあります。いつ来るのか分からないのです。これは軽くカルチャーショックでした。日本では絶対にありえない状況だと思います。

しかしこの「いつ来るか分からない」という状況を個人的にはとても気に入っています。メトロバスは 3 分間隔と結構頻繁に来てくれることもありますが、たとえ中々来なくても「いつかは来る」と心に余裕をもって待てるのです。時刻表通りに来なくてイライラするという状況がメキシコでは起こりません。だからかメキシコは遅刻にも寛容で、クラスメートもよく遅刻しますが一切咎められず、満面の笑みで「Buenos días!」。日本にはない余裕、これはメキシコのいいところの 1 つなのだと勝手に考えています。

日本の時間通りに物事を進めようとするところも素敵だと思いますよ。

